

べんきょう ～勉強って、なんですか？～

この疑問について、一度は考えたことがある人はたくさんいると思います。そして、その答えは人によって違うかもしれません。わたしなりの答えは・・・

学習 するための方法を知るため。

学習 するための脳の使い方（記憶の整理の仕方）を知るため。

それを、様々な教科等を通して訓練していくのだと思います。みなさんが中学校を卒業したあとも、「学習」は続いていくのですから。そして、「これは人生で必要なのか？」と思うことほど、実は社会の中で広く使われていることだったりするのですから。

また、学校での学習で大切にしてほしいことは、「仲間とともに学習する」ということです。授業の中で、様々な仲間と話をし、自分と違った考えに触れることはとても大切なことです。そうすることで、あなた自身の物事の見方、考え方が広がります。さらに、その人がどんな人なのかを知ることができます。あなたのまわりの仲間がどんな人なのかがあると、きっとあなたは今までより安心して学校生活を送ることができると思います。そして、今までよりも楽しく学校生活を送ることができるはずです。

知らなかったことを知る、わからなかったことがわかるって、すごく楽しいことなのです。

クラスに掲示してある運動会への意気込みを見ていたら、ひとりの意気込みに心を揺さぶられました。それがこれです。

『優しい運動会』

この意気込みを考えた人は、どんな気持ちでこれを考えたのだろうか。そして、当日はどうだったのだろうか。運動会が終わった今は、どんな気持ちなのだろうか。いろいろ考えながら、こんな場面が心に蘇ってきた。あるブロックで、結果に悲しみながら応援席に帰ってくる仲間に、「拍手で迎えよう！」とまわりに声をかけ、温かい拍手が起こった場面だ。確かに、『優しい運動会』だったと思った。